



POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

三和中央病院

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

印刷：昭英印刷有限公司 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます



<目次> CONTENTS

- P 2・・・グループホーム ～ハートハウスさんわ～
- P 3・・・アウトリーチ事業・部署紹介 (ひまわり病棟)
- P 4・・・クロザリルについて・とまと病棟運動会

ハートハウスさんわ

平成24年4月、為石浄水場を望む高台に精神障がい者グループホーム『ハートハウスさんわ』を開設しました。食堂、台所、浴室、トイレなどの共有スペースと、個室が10室あります。

精神障がい者グループホームとは

地域での社会生活を希望される精神障がい者の方に対し、グループホームに世話人を置いて下記のような援助を行うことによって、ご本人が自立して社会復帰できるよう支援することを目的としています。

- 日常生活援助
(食事の世話・服薬や衛生面の指導、援助)
- 生活相談 (金銭出納や日常生活に関すること等)
- 行政関係、その他の手続きの助言や相談



スケジュール

【平日】

- 8:00 朝食
- 8:30 デイ・ナイトケア
- 19:00 帰宅
(風呂・自由時間)

【土日祝日】

- 8:00 朝食
- 12:00 昼食
- 18:00 夕食

サービス管理者(久保田)の一言

4月にオープンして約2か月が過ぎました。現在8名の方が入所されています。8名とも日中は三和中央病院のデイケア・ナイトケアに参加されています。休日は外出し買物される方や自分で料理を作る方や麻雀する方々など好きな時間を過ごされています。

まだオープンしたばかりなので入所者の方々とスタッフが協力し試行錯誤しながら、より良いグループホームになればと思っています。

グループホーム前の為石浄水場周辺には春と秋に野生の鹿が草を食べている姿もみられ自然豊かで静かな環境の中で過ごすことができます。



お問い合わせ

グループホーム ハートハウスさんわ

〒851-0403 長崎市布巻町72-1 TEL 095-892-8780・FAX 095-892-8780 (サービス管理者：久保田)

精神障がい者 アウトリーチ推進事業

アウトリーチ室 宮崎 昭嘉



5月より、アウトリーチ室に勤務することになりました。

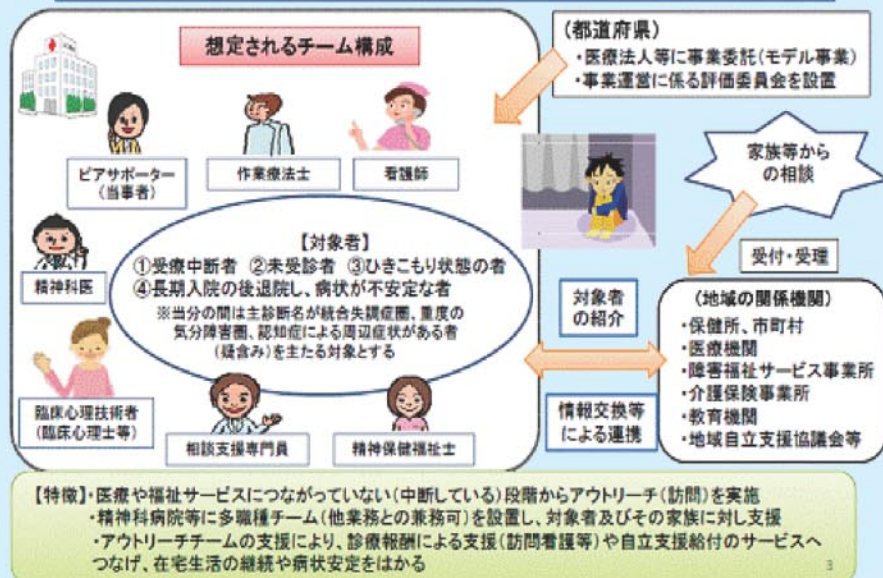
皆さん、アウトリーチがどんなことをするかご存じですか。アウトリーチは厚生労働省が新たに取り組む事業で、精神障がい者で受診中断者、自らの意志では受診が困難な精神障がい者、長期入院の後退院した者、入退院を繰り返す精神障がい者等に対して訪問支援により医療・保健・福祉サービスを包括的に提供するための方策を検討するためのモデル事業です。

対象疾患も決められており、認知症（周辺症状を伴うなど）・統合失調症、統合失調型障害および妄想障害・気分（感情）障害の方が対象です。構成チームは、精神科医・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理士・ピアサポーター

（当事者）がチームを組んでサポートします。この事業を三和中央病院が主に、長崎市南部・東部を担当します。この事業の特徴は、24時間サポートするという事です。また長崎県の委託事業なので訪問や相談等に対して費用はかかりません。入院しないで地域でサポートしようという事業です。新たな事業で分からないことばかりですが、地域医療の為に頑張ろうと思います。

精神障害者アウトリーチ推進事業のイメージ

★ 在宅精神障害者の生活を、医療を含む多職種チームによる訪問等で支える。



部署紹介 【ひまわり病棟】

ひまわり病棟では急性期症状の改善を最優先として、早期治療による急性期症状の軽減と1日も早い患者様の社会復帰を目指しています。

患者様の症状や状態を理解し、それにあった様々な治療（薬物療法・精神療法・作業療法・認知行動療法）を行っています。また、合併症や事故防止にも力を注いでおり、患者様の不安の軽減・安全の確保に努めています。慢性期へ移行した患者様に対しては、穏やかな入院生活を送れる様、急性期症状の適切な評価と看護を念頭に、日々努力しています。





「治療抵抗性統合失調症」の治療薬クロザリルについて

三和中央病院副院長 松本 喜代隆

統合失調症の薬物療法の歴史はまだ60年です。この間、多くの治療薬が開発されて、統合失調症の治療は大きく前進しました。近年は、統合失調症そのものの軽症化や、新しく発病して受診する人の減少が言われています。しかし、一方では、複数の治療薬を十分量使用したにもかかわらず、症状が改善せず、長期入院を余儀なくされている人もいます。全ての薬を使ってみたが改善しない、あるいは、副作用の苦痛のため必要な量が使えない統合失調症を「治療抵抗性統合失調症」と呼びます。クロザリルは、この「治療抵抗性統合失調症」に効果が確認されている、世界でただ一つの薬です。

良い方の特徴は、「今まで治らなかった人（その約6割くらい）に効果が期待できる。」「本人が苦痛に感じる副作用が少ない。」です。

ずいぶん古くに開発された薬で、最初にオーストリアで使われたのは1969年です。なのに、日本で長く使えなかったのは、この薬がもたらす重大な副作用のためでした。アジア人では、およそ100人のうち3人弱に、血液の中の白血球が減少してしまう副作用が出現するのです。特に免疫機能を担う顆粒球が減少し、無顆粒球症に至り、死亡する例が1975年北欧を皮切りに相次いで報告されました。この結果、日本では使用に向けての動きがすべてストップしました。

通常であれば、この時点でこの薬は過去のものとなり、使用されることはないはずですが、クロザリルの抜群の実力を無視できず、1988年以降欧米では、過去の反省をもとに、血液チェック態勢を強化し、適正使用委員会が認可した病院、医師に限って再び使用が開始されました。日本においても、厳しい基準を設け、重大な副作用を早期に発見できる態勢と、早期に治療できる態勢を整えた医療機関に限り2009年から、使用することが可能となりました。

当院では、昨年2011年12月から準備を始めて、今年2012年4月に使用が認可され、治療を開始しました。長崎県内ではまだ3施設。九州全体でも20施設程度しか認可されていません。

もう治らない、とあきらめていた統合失調症の患者さんやご家族の皆様にも少しでもお役に立てるよう、十分な説明と慎重・万全な態勢で取り組んでいきたいと思えます。



とまと病棟運動会

みんな
頑張りました!!



医療法人 清潮会 三和中央病院

診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科

〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

E-mail: info@sanwa.or.jp

グループホーム ハートハウスさんわ

〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1

TEL 095-892-8780・FAX 095-892-8780